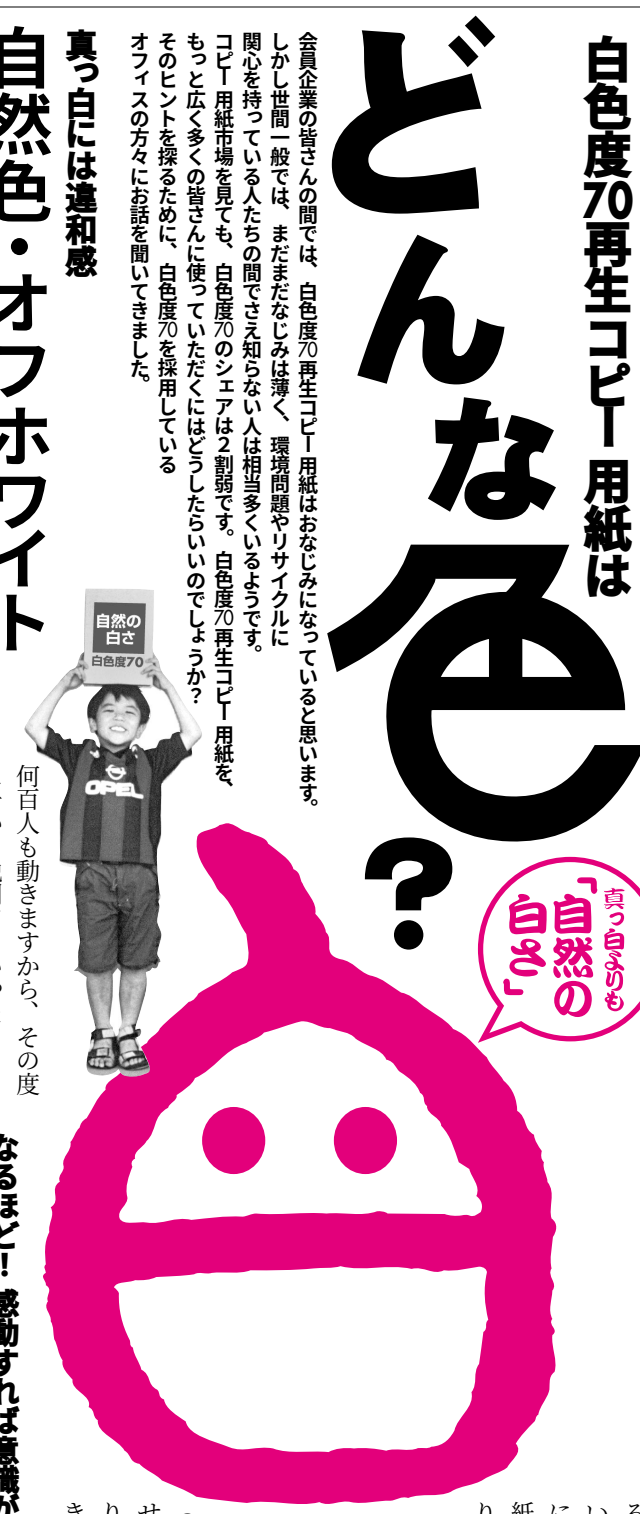
オフィス町内会
輪
会報　白い季節号

発行日　平成14年11月7日
発行　オフィス町内会事務局　代表 半谷栄寿（東京電力）
連絡先　〒108－8537 東京都港区芝浦4・6・14 東電環境エンジニアリング㈱内
オフィス町内会事務局実行本部　TEL03・3454・0408　FAX03・3452・4815
編集　オフィス町内会事務局　副代表 豊田恵志　内田道昭　エトランチ

白色度70再生コピー用紙は どんな色？

白色度70はどんな色？ シリーズごめんください①

会員企業の皆さんの間では、白色度70再生コピー用紙はおなじみになっていると思います。しかし世間一般では、まだまだなじみは薄く、環境問題やリサイクルに関心を持っている人たちの間でさえ知らない人は相当多くいるようです。コピー用紙市場を見ても、白色度70のシェアは2割弱です。白色度70再生コピー用紙を、もっと広く多くの皆さんに使っていただくにはどうしたらいいのでしょうか？そのヒントを探るために、白色度70を採用しているオフィスの方々にお話を聞いてきました。



真っ白には違和感 自然色・オフホワイト

山之内製薬 株式会社
総務部 環境保全室 課長 小松寿統
総務部 環境保全室 飯島壽美子

「慣れてしまえば、白色度70は特別なものではないのだと思います。今は、真っ白なコピー用紙に違和感を覚えます。契約書もハンコを押す書類も、コピー用紙を使うものはみんな白色度70です。採用し始めた10年前は、社内で反感を買いました。全国の支店、営業所からクレームが寄せられました。こんな藁半紙みたいな紙を使うなんて冗談じゃない、官公庁に提出するのにこんな紙は使えない、と言って白色度80の用紙を個別に購入する部署があったりしました。

説明、説得を重ねて、勉強会を開き、定着するまで1年くらいかかりました。人事異動の際には苦労しましたね。1年間に何回か異動があり、1回の異動で何百人も動きますから、その度に一から説明、といったこともありました。なぜ白色度70なのか、理由を説明すると女性は比較的すんなり理解してくれました。家庭でも生活に結びついたところで分別やリサイクルに取り組んでいるからではないでしょうか。なかなか理解してくれないのは、頭の中がオジサンの人だったのかなと思います。

自然色、オフホワイトのコピー用紙は定着しました。今度は、リサイクルからリデュース。紙の使用量削減に取り組んでいます。」

なるほど！感動すれば意識が変わる 右脳にうったえる言葉

平和紙業 株式会社
販売推進部 部長 添田 馨
販売推進部 係長 田中雅子

「一言に白色度70といっても、どれも同じ白ではありませんよね。単純にいえばグレー系と茶系の製品があります。個人的な好みは出てくると思いますが、当社で5年ほど前から白色度70を使い始めたとき、色のことでの問題は特にありませんでした。ただ、当時の製品のなかには紙詰まりなど機能的な品質問題を持つものもありました。今は、品質も安定して誰もが普通の感覚で白色度70を使っています。

オフィス町内会がとなえた『適度な白さ』は良かったと思います。白色度70というのは色の指標であって、その言葉に背景は表現されていません。だから白色度70という言葉が一人歩きしても、それを使う意味を連れていかなければ訴える力は弱いでしょうね。白色度70は、なぜ適度で正しい白さなのか、そこを伝えられる言葉が要るのだと思います。たとえば、白色度運動をしている元朝日新聞の辰濃和男さんは、白色度70は『自然の白さ』だと言っていました。感動してなるほどと思いました。白色度70はリサイクルに適した白さ、環境的に良好な自然なホワイトなんだよ、と、その意味を感性に訴える右脳的な言葉が要るのかなと思います。大事なことは、色じゃなくて、その背景にある意味なのですから。」

ちょっとの違い が、こんなにやさしい。

キリンビール株式会社
総務部長 岩佐哲男
総務部 総務担当 部長代理 福重信義
総務部 総務担当 島崎加奈子

「白色度70のコピー用紙を使うようになって8年目です。

導入期には、プレゼン資料を作るから真っ白な紙を使いたいという声があがってきたり、県庁に提出したら『なんだこの汚れた紙は』と言われたなどの逸話もあります。今では笑い話ですね。

切り替えは、ルールを定めればそれなりに成果は上がるでしょう。しかし、一人ひとりが納得の上で使わない限り、白色度70の本当の定着はないのでしょうね。そのためには、白色度70がなぜいいのか、その理由に気づかなければなりません。環境やリサイクルへの取り組みは、そういうことに気づき合うことではないでしょうか。

白色度70は、真っ白の紙にくらべて3割も白さが落ちるというイメージはありませんか？ 真っ白が80だから、70は1割ちょっとの違いなのです。そして、この違いは白さが落ちるということではなく、使ってみるとやさしい白さだと気づくと思います。今では、社外からの書類やDMで真っ白い紙を見ると『おやっ』と思ってしまうようになりました。白色度70という言い方は、堅いかもしれませんね。たとえば『やさしい白』、そんなふうに呼び方を変えてみてはどうでしょうか。」

オフィスのインフラをめざして アスクルの白色度70レポート 第十回 町内会だより

アスクル株式会社
取締役環境品質マネジメント室長 久原義己

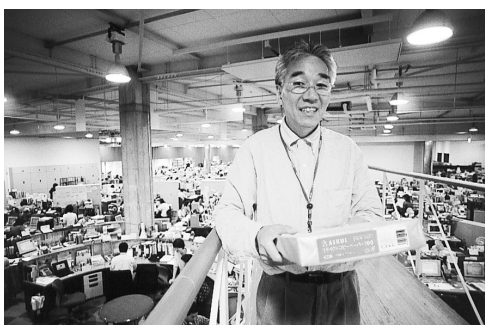
白色度70クラブにも参加するアスクルの役員、久原さんに同社の白色度70再生コピー用紙に関する取り組みをうかがいました。

「お客様のために、お客様とともに、をたえず自問しながら行動をしてきたアスクルですが、ガスと同様にオフィスのインフラストラクチャーをめざしていく上で『社会と共に』『環境との共生』は、まだ自問を始めたばかりです。当社の企業活動が環境にどれだけの影響をの実体把握は現在進行中の取り組みです。

白色度70再生コピー用紙については、当社全体の売り上げのうち、まだわずかな売り上げを占めるにすぎないカタログでの掲載紙面は大きなスペースを取り、掲載順も上位に移行させています。そして、より購入しやすいよう、価格の見直しも行いました。また、アスクル・グリーン商品リストでは、コピー用紙全てのコピー用紙は〈おすすめしますオフィスのコピー用紙〉と題し、白色度70再生コピー用紙は(1)新聞紙などの一般古紙を利用できるから紙のリサイクルに貢献できる、(2)漂白工程などのエネルギーが少ないから環境負荷も少ない、(3)色の感じがやわらかいからやさしい感じがする、と3つのメリットを具体的に明示して、積極的な使用を呼びかけています。

環境問題の解決策は、これだという決め手・妙手がないというのが現状です。ボディーブローのように、じっくりと効果があらわれることを信じて、取り組みを継続していくことなのだと思っています。これからも白色度70再生コピー用紙の普及に力を注ぐとともに、環境負荷の少ないグリーン商品の品揃え拡大、オフィスのグリーン購入促進に取り組んでいきます。また、今年9月からはアスクルカタログの回収サービスを開始するなど、オフィスの廃棄物削減と有効利用にも取り組んでいきます。アスクルは、社内外にわたるリデュース・リユース・リサイクルの実現をめざしていきます。

そこで大切なことは、まず社員一人ひとりが毎日の暮らしやオフィスで、自分がしていることが環境にどれだけ負荷をかけているのかを意識し考えていくことだと思っています。身近なことから、小さなことから、できることからアスクルは環境最適企業をめざしていきます。」



シリーズ ごめんください 1

株式会社 山善の巻

わいわいがやがや みんなで リサイクル

株式会社 山善 東京営業本部
本部室 室長 能崎正人　人事総務部 部長 山﨑公明　人事総務部 係長 永山隆二
営業経理部 統計課 情報システム担当 主任 小出正樹　人事総務部 野村美幸

「今年度よりオフィス町内会に入会した株式会社山善を訪ねました。同社の第一印象は、元気の良さ。取材に応じてくれた5人の方々に、活気あるお話を聞いてきました。」

株式会社 山善 東京営業本部では、自社の「環境方針」を基にオフィス町内会活動に参加するほか、ISO14001の認証取得、東京都の「エコ・アップ事業所東京宣言」に登録するなど、環境活動を積極的に推進しています。

横断する リサイクル

「以前から古紙の分別に取り組んできましたが、紙のリサイクルを見直してみようということになり、ホームページでオフィス町内会のことを知りました。環境的にもコスト的にも良さそうで、先のことを見つめた活動だと思い、さらに、他の企業の方々とのつながりを持ったリサイクルという点に興味を持ち、導入の検討を始めました。事務局との打ち合わせでは、さまざまなことに気づきました。たとえば、以前の回収会社は感熱紙も回収していましたがオフィス町内会では不可だったり、機密を守ってリサイクルできる仕組みがあったり、ようするに紙がきちんと循環する良質のリサイクルに取り組んでいることが分かり、参加を決定しました。導入はスムーズでした。当社ではグループ会社も含めて約1400人が業務に携わっていますが、そのうち500人くらいが何らかの環境活動に携わっています。みんなでわいわいがやがや言い合いながら、部門を横断して全社的に環境活動やリサイクルに取り組む体質があったからだと思います。若い社員でも、間違ったリサイクルをしていれば、部長を叱ったりしていますから。」

一人ひとりの エコアップ

「現在紙の分別は6種類ですが、新聞紙はリサイクルではなく、工具のパッケージの緩衝材としてリユースしています。身近なところでは社内にグリーンリユースBOXと名付けた手製の箱を設置して、使わない文具を持ち寄り、必要な人は新品を使う前にまずこの箱の中のものを使うようにしています。また、グリーン商品の購入については現在、文具・クルマ・OA・印刷物など8分野で取り組んでいます。

リサイクルは言われたことをやるのではなく、みんなで盛り上がって、一人ひとりが主体性を持ってどう取り組んでいくか考えることが大切だと思います。それが、継続することや将来につながっていく鍵だと思います。」

オフィス町内会 第13回 会員総会

7月14日、中央区新川の日本橋東友会館にて、オフィス町内会第13回会員総会が開催されました。平成13年度末現在、会員企業数161社293事業所、協力回収会社46社、古紙回収量8750トンの規模になっています。エコ・オフィス町内会は千代田区・中央区・港区の3区合計で、会員企業数798事業所、古紙回収量870トンとなっています。

総会では、平成13年度の活動、収支、平成14年度の社会貢献活動計画などが報告され承認されました。

お客様とともに 進化する

アスクル株式会社
代表取締役 社長（CEO） 岩田彰一郎

総会に続いて、アスクル株式会社の岩田社長を招いて、特別講演会が開催されました。講演のテーマは「お客様のために進化するアスクル」と題され、業界の風雲児とされる同社のシステムの説明に始まり、お客様の声をいかにして聴くか、インターネットの可能性、そしてすべてはお客様のために進化するというアスクルのビジネスモデルについてお話をうかがいました。

第5回グリーン購入大賞 審査結果発表

グリーン購入ネットワーク(GPN)が主催する第5回グリーン購入大賞で、オフィス町内会は審査委員特別賞を受賞しました。グリーン購入大賞は、グリーン購入の実践や、グリーン購入の普及・促進において優れた取り組みを行う団体を表彰するもので、オフィス町内会の受賞は、社会貢献活動としての再生紙使用拡大運動が評価されたものです。なお、表彰式・発表会は11月13日に千代田区神田駿河台の中央大学駿河台記念館で行われる予定です。

●第5回 グリーン購入大賞
主催　：グリーン購入ネットワーク(GPN)
後援　：環境省　経済産業省　WWFジャパン　日本経済団体連合会
　　日刊工業新聞社　日本経済新聞社
　　日本工業新聞社　毎日新聞社　読売新聞社
審査員：審査委員長 天野祐吉(コラムニスト)
　　審査副委員長 中原秀樹(武蔵工業大学教授)
　　赤星たみこ(漫画家)　郡嶌 孝(同志社大学教授)
　　高橋秀夫(日本経済団体連合会 環境・技術本部長)
　　日野迪夫(WWFジャパン事務局長)
　　環境省　経済産業省　日本経済新聞社　毎日新聞社　読売新聞社

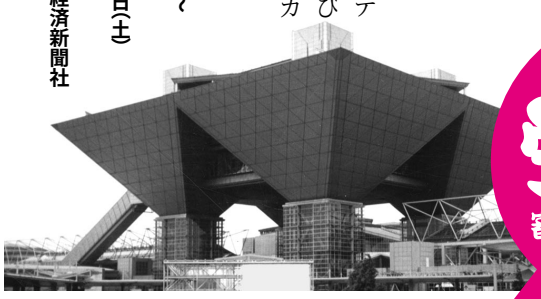
受賞 審査委員特別賞

オフィス町内会 OPEN! カフェ登場

エコプロダクツ2002
東京ビッグサイト 12月5日(木)～12月7日(土)

日用品から産業資材まで、環境配慮製品とエコライフのための各種サービスが一堂に集まるわが国最大の展示会に、オフィス町内会は初出展します。来場者との直接コミュニケーションをはかるため展示コーナーをカフェに仕立てて、白色度70運動をメインテーマとして再生紙の使用拡大を呼びかけます。ご来場の際は、ぜひ当カフェにお立ち寄りください。

開催概要
地球と私のためのエコスタイルフェア～エコプロダクツ2002（第4回）
会期：2002年12月5日(木)～7日(土)
10時～17時
主催：(社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
入場料：無料



愛してきたのは「自然の白さ」です。

白色度70クラブ

「白色度70クラブ」は、6月12日に第2回ミーティングが、そして10月18日に第3回ミーティングが開かれました。（「白色度クラブ」設立の経緯、詳細は会報「輪」14号に掲載）いずれの回も、積極的な情報交換と熱の入った議論が行われ、次のような意見が浮かび上がっています。

○白色度運動の第2ステージは、個人の意識の問題に踏み込もうと

ちょうど良い白さ

白色度70 CLUB

する活動であり、一般ユーザーへの啓蒙の必要性が強く求められること。

○白色度70の価格的な優位性がうすれた現在、環境保全や社会貢献といった社会的効果を明確にするために、白色度70のメリットをユーザーに明確に伝えなければならない。

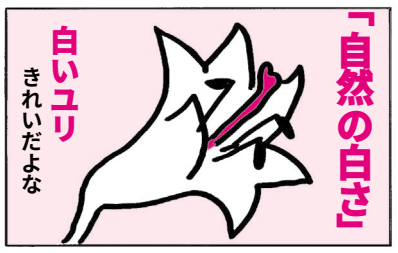
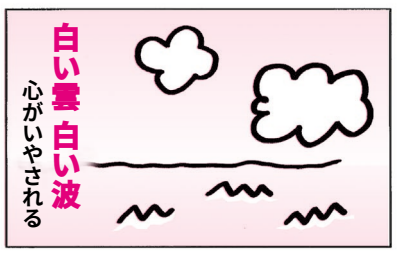
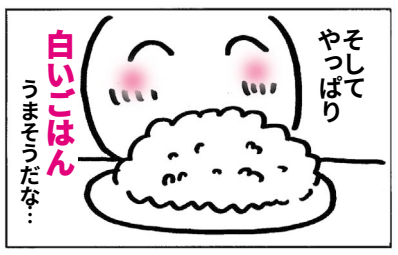
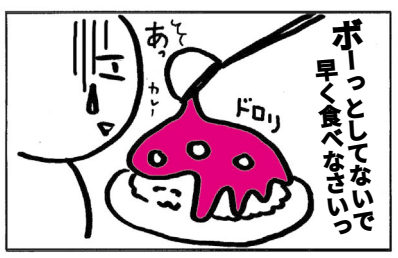
○価格以外の価値観でも人間は行動するといった使命感のような説明の仕方も求められるかもしれない。たとえば、文化、歴史、自然といったことを思考や行動のよりどころに据えるなど。

こうした意見をもとに、現在「白色度70クラブ」では、「真っ白よりも『自然の白さ』」と題した啓蒙用小冊子の作成を検討しています。

事務局通信

●会員総会では事務局スタッフの変更が報告されました。副代表の富士ゼロックスオフィスサプライの村田正夫が退任し、同社の田治之博が副代表に新任。同じく副代表の東電環境エンジニアリングの緒方毅が退任（東京電力へ出向解除）、同社の豊田恵志が新任。また事務局アドバイザーの東京データビジョンの渡辺浩夫が退任し、副代表を退任した東京電力の緒方毅が新任となりました。

●「白色度70クラブ」の活動に関連して、会員企業の皆さんには、「白色度70アンケート」にご協力していただきました。調査結果は、白色度運動の推進の参考とさせていただいています。ご協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

●今号より連載開始の「シリーズごめんください」にご登場いただけるオフィスを募集します。皆さんのオフィス町内会活動を見せてください。ご協力くださる会員企業の方は、事務局までご連絡お待ちしています。

ななまるくん